

令和元年 10 月 11 日
予 報 部

台風第 19 号について（10 月 11 日）

10 月 11 日 11 時現在の台風第 19 号に関する概要や留意事項を別添の通りお知らせします。

問合せ先：予報部 予報課 電話 03-3211-8303

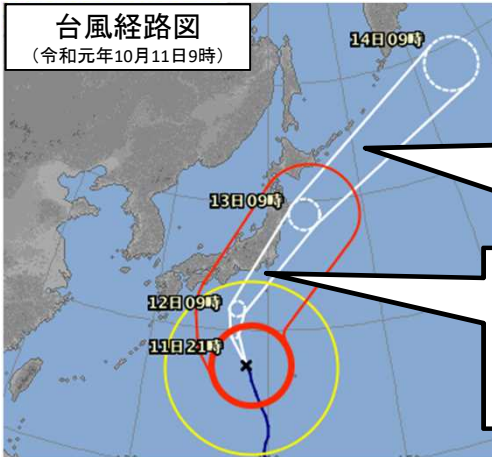
台風第19号について(10月11日)

大型で非常に強い台風第19号は、12日夕方から夜にかけて、非常に強い勢力を保ったまま東海地方または関東地方に上陸し、その後東日本から東北地方を北東へ進む見込みです。12日から13日にかけて、東日本を中心に、西日本から東北地方の広い範囲で猛烈な風が吹き、海は猛烈なしけとなり、記録的な暴風となるところもあるでしょう。また、台風本体の非常に発達した雨雲がかかるため、広い範囲で記録的な大雨となる見込みです。状況によっては、大雨特別警報を発表する可能性があります。伊豆に加えて関東地方でも土砂災害が多発し、河川の氾濫が相次いだ、昭和33年の狩野川(かのがわ)台風に匹敵する記録的な大雨となるおそれもあります。全国的に、暴風、うねりを伴った高波、大雨による土砂災害、低い土地や地下施設の浸水、河川の増水や氾濫、高潮や高潮と重なり合った波浪による浸水や沿岸施設の損壊に厳重に警戒してください。また、落雷、竜巻などの激しい突風に十分注意し、交通障害や農作物の管理、停電、塩害などにも留意してください。

各地の気象台の発表する警報・注意報など気象情報に留意するとともに、自分の命、大切な人の命を守るために、風雨が強まる前に、夜間暗くなる前に、市町村の避難勧告等に従って、早め早めの避難、安全確保をお願いします。

台風経路図

(令和元年10月11日9時)



速度を速めながら、北海道の南東海上に進み、温帯低気圧に変わる見込み。

台風は非常に強い勢力を保ったまま、上陸する見込み。

【台風の見通し】

大型で非常に強い台風第19号は、11日9時現在、父島の西海上を北北西へ進んでいます。今後、次第に北北東から北東へ進路を変えて、12日夕方から夜にかけて、非常に強い勢力を保ったまま東海地方または関東地方に上陸し、13日にかけて速度を速めながら、東日本と東北地方を進む見込みです。その後、北海道の南東海上で温帯低気圧に変わる見込みです。

【暴風と高波の見通し】

・東日本・西日本の太平洋側では、11日昼過ぎから大しけとなり、11日夕方から非常に強い風が吹き、11日夜までには、猛烈なしけとなるところがある見込み。

・12日から13日にかけて、西日本、東日本、東北地方の広い範囲で猛烈な風が吹き、記録的な暴風となるところもある。太平洋側では、猛烈なしけが続く。日本海側でも暴風が吹き、大しけとなる見込み。

・台風第15号と同程度の暴風のおそれがあり、15号に比べて、日本海側も含め、広い範囲で暴風となる見込み。



注)イラスト・写真は想定される災害を示しています。

■ 暴風

12日までに予想される最大風速（最大瞬間風速）

東海地方、	45メートル（60メートル）
関東甲信地方	40メートル（60メートル）
近畿地方	30メートル（45メートル）
東北地方	28メートル（40メートル）
北陸地方、四国地方	25メートル（35メートル）
中国地方、小笠原諸島	23メートル（35メートル）
九州北部地方	22メートル（35メートル）
北海道地方、九州南部	20メートル（30メートル）

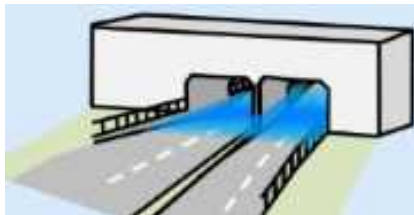
これ以降、13日も東日本、北日本では猛烈な風や非常に強い風となる見込み。

■ 高波

12日までに予想される波の高さ（最大）

東海地方、関東地方、伊豆諸島	13メートル
近畿地方、小笠原諸島	10メートル
東北地方、四国地方	9メートル
北陸地方、中国地方、九州北部地方、九州南部、奄美地方、沖縄地方	6メートル
北海道地方	4メートル

これ以降、13日も東日本、北日本では、猛烈なしけや大しけとなる見込み。



【大雨の見通し】

・11日午後から西日本太平洋側や東日本での南東向きの斜面を中心に、非常に激しい雨が降り始める。



九州地方整備局HPより

地下街の浸水状況 H15.7 福岡水害 (博多駅)



写真：広島市で発生した土砂災害 (平成26年8月20日気象庁撮影)

・12日から13日にかけて、西日本から東北地方では広い範囲で、台風に伴う雨雲がかかり、非常に激しい雨や猛烈な雨が降り、東日本を中心に、狩野川台風匹敵する、記録的な大雨となるおそれ。



岡山県倉敷市真備町の浸水状況 小田川
写真：気象庁職員撮影



・12日12時までの24時間の雨量は、多いところで、東海地方では500ミリ、13日12時までの24時間の雨量は、東海地方では600～800ミリ、関東甲信地方と北陸地方では300から500ミリなど、広い範囲で大雨となるおそれ。

注) イラスト・写真は想定される災害を示しています。

24時間雨量(多いところ) 単位:ミリ

	12日12時まで	13日12時まで
北海道		50～100
東北	100	300～400
北陸		300～500
関東甲信	250	300～500
伊豆諸島	250	300～400

	12日12時まで	13日12時まで
東海	500	600～800
近畿	250	200～300
中国		200～300
四国	200	50～100

この雨大丈夫? そんな時は
気象庁ホームページで確認

危険度分布 検索



高潮の見通し

10月11日
10時時点の資料

沿岸部では、猛烈なしけや大しけが予想され、高潮や高潮と重なり合った波浪による浸水や沿岸施設の損壊に厳重に警戒してください。

満潮時刻

新潟
12日 13時41分
13日 02時22分

仙台
12日 15時13分
13日 03時12分

舞鶴
12日 13時18分
13日 01時49分

小名浜
12日 15時26分
13日 03時28分

銚子
12日 15時36分
13日 03時36分

東京
12日 16時31分
13日 04時29分

布良
12日 16時01分
13日 04時02分

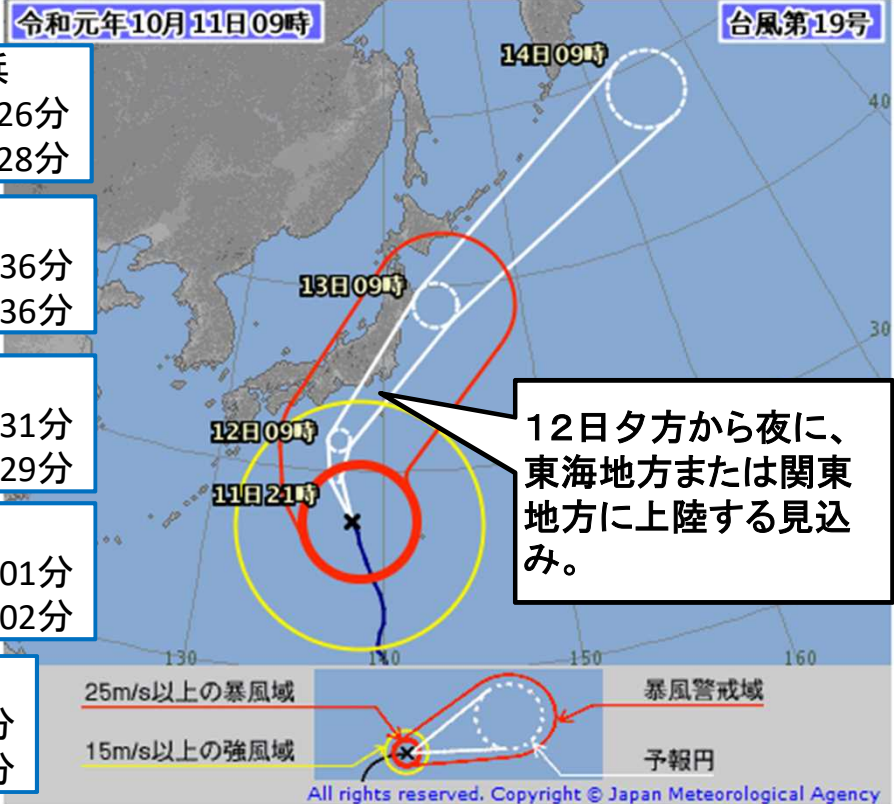
尾鷲
12日 17時10分
13日 05時15分

小田原
12日 16時15分
13日 04時16分

名古屋
12日 17時27分
13日 05時29分

静岡
12日 16時56分
13日 05時01分

三宅島
12日 03時55分
12日 16時28分



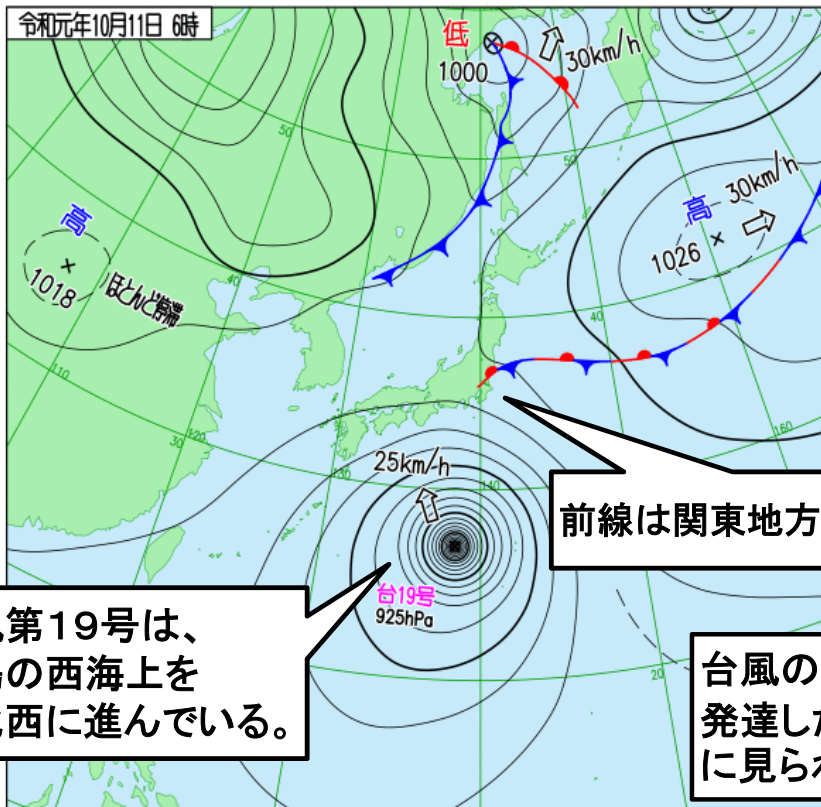
潮位観測情報

<https://www.jma.go.jp/jp/choi/>

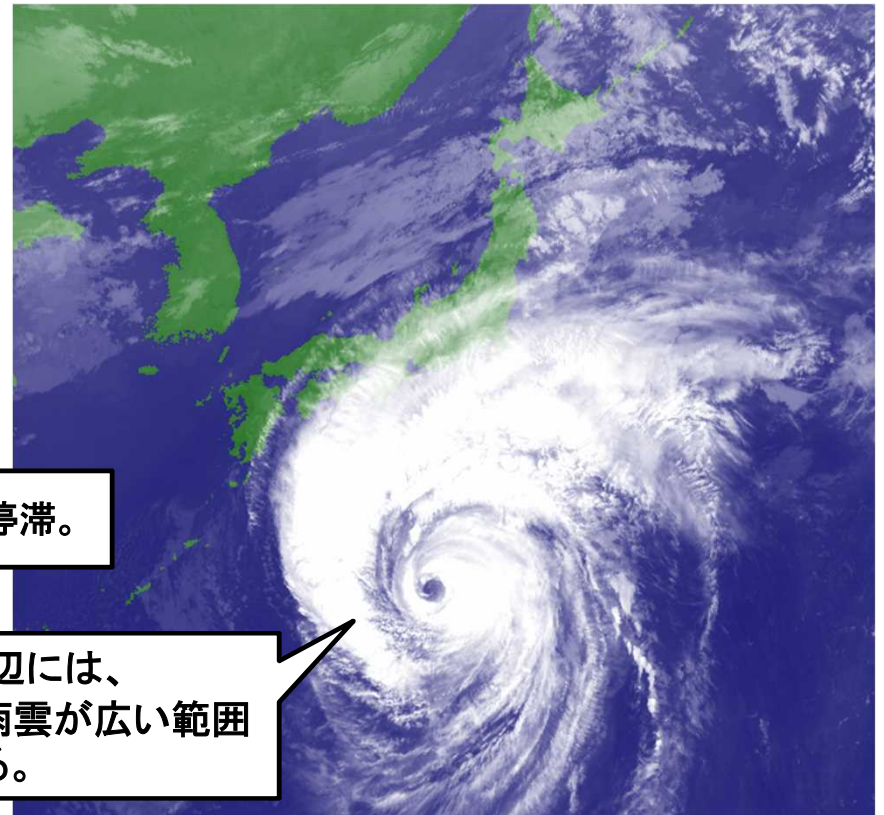
以下 補足資料

天気図と衛星画像

10月11日
10時時点の資料



11日06時
天気図

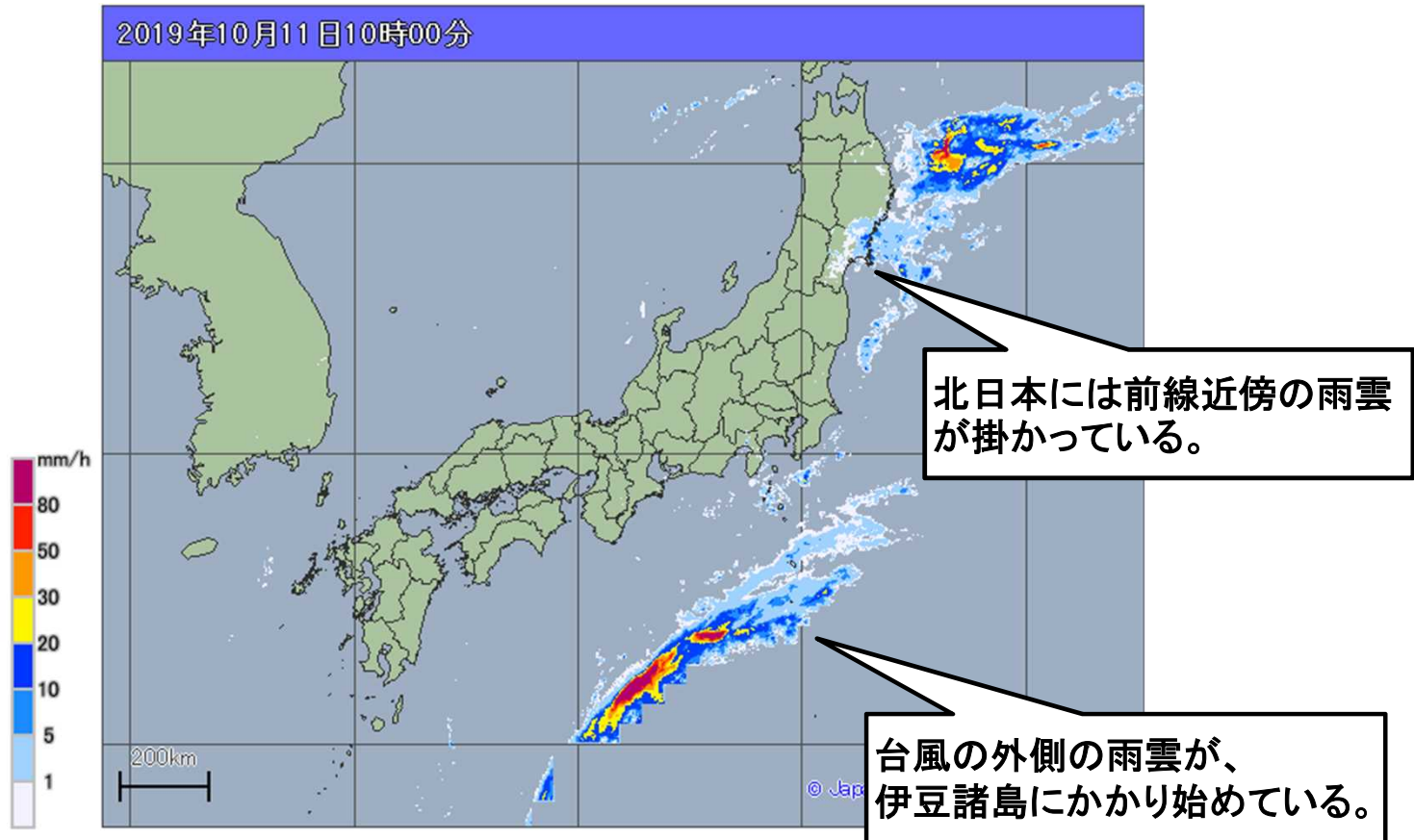


11日10時00分
衛星画像(赤外)

今後の予想を含めた最新の情報は各地の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(天気図: <https://www.jma.go.jp/jp/g3/index.html>)
(衛星画像: <https://www.jma.go.jp/jp/gms/>)

雨雲の様子

10月11日
10時時点の資料

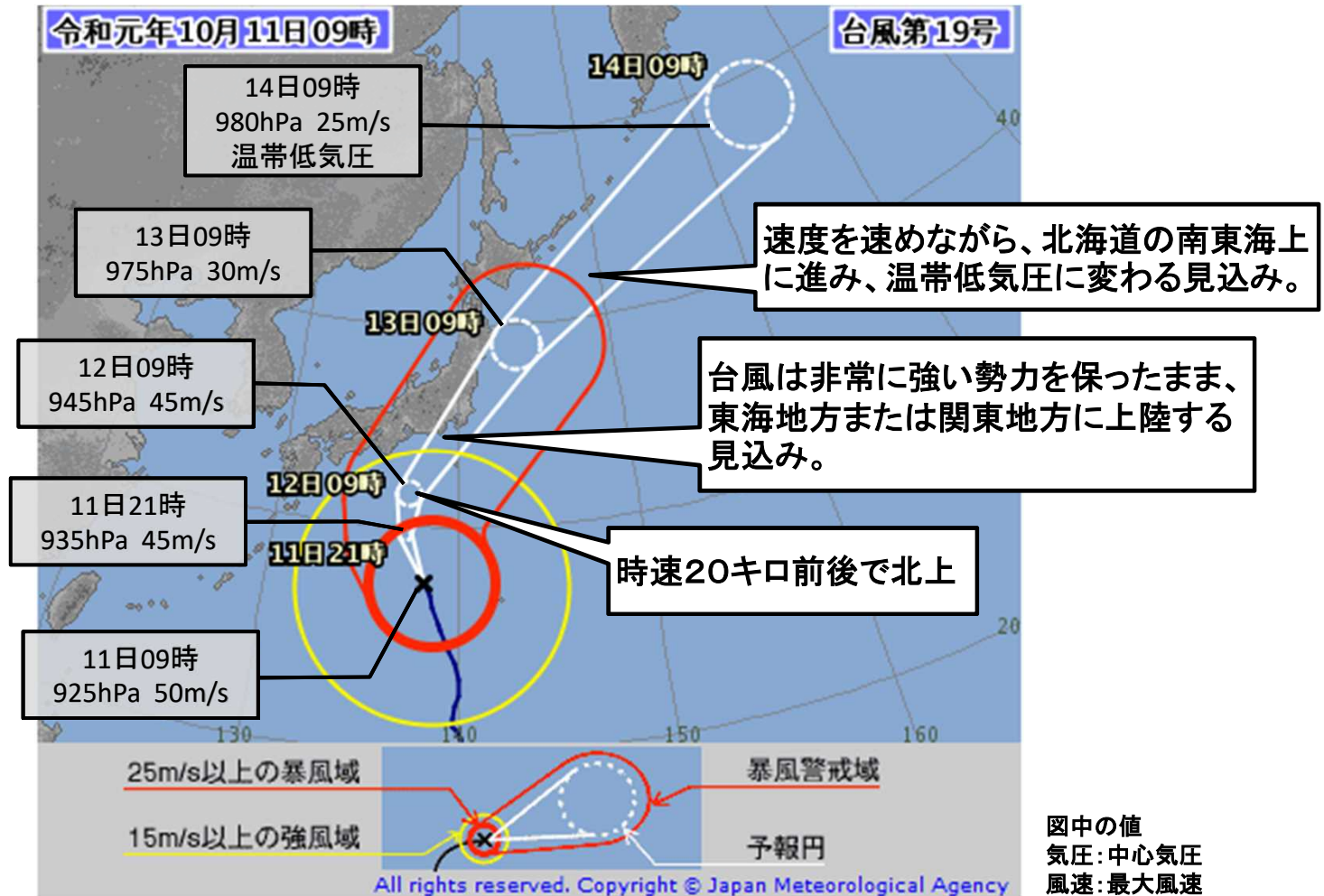


11日10時 雨雲の様子

今後の予想を含めた最新の情報は、各地の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(雨雲の動き (高解像度降水ナウキャスト) : <https://www.jma.go.jp/jp/highresorad/>)

台風の進路予想

10月11日
10時時点の資料

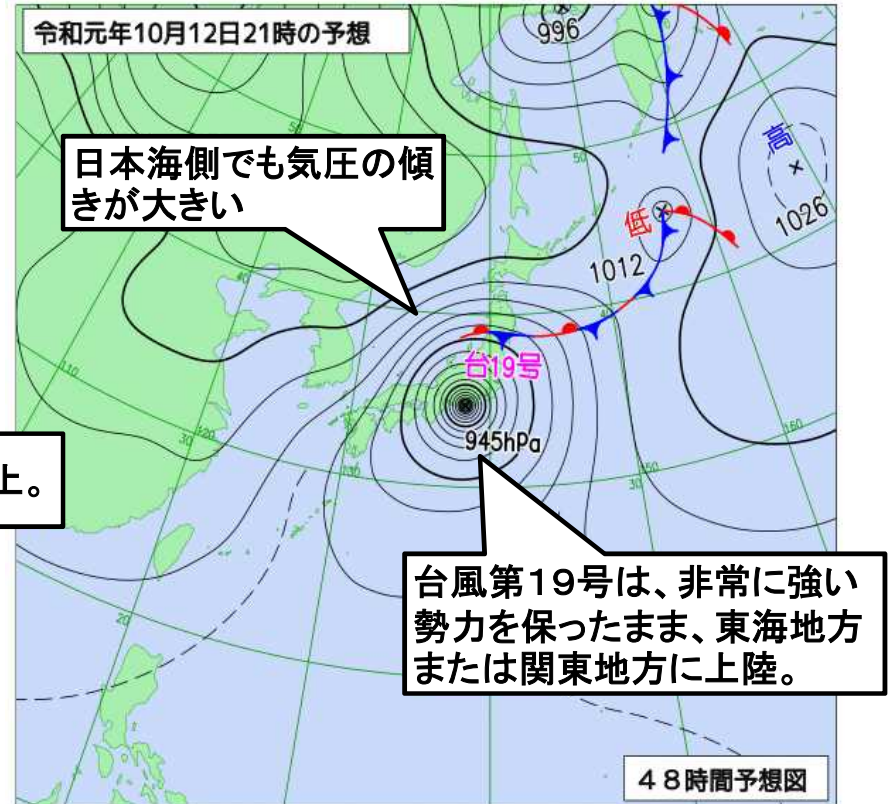
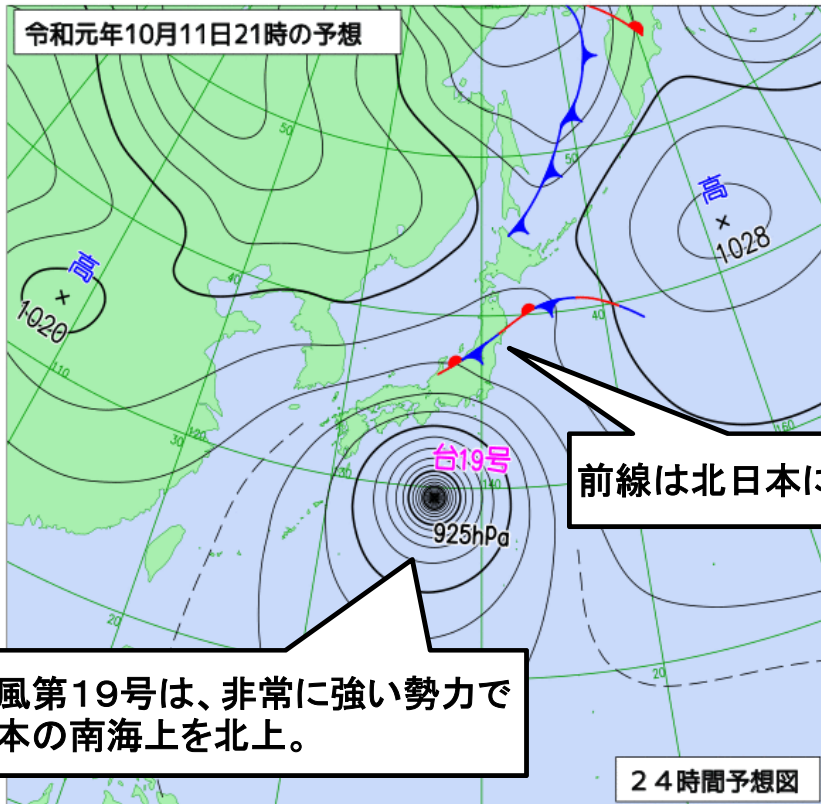


台風第19号の進路予想図(11日9時)

今後の予想を含めた最新の情報は、各地の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(台風情報：<https://www.ima.go.jp/jp/typh/>)

予想天気図

10月11日
10時時点の資料

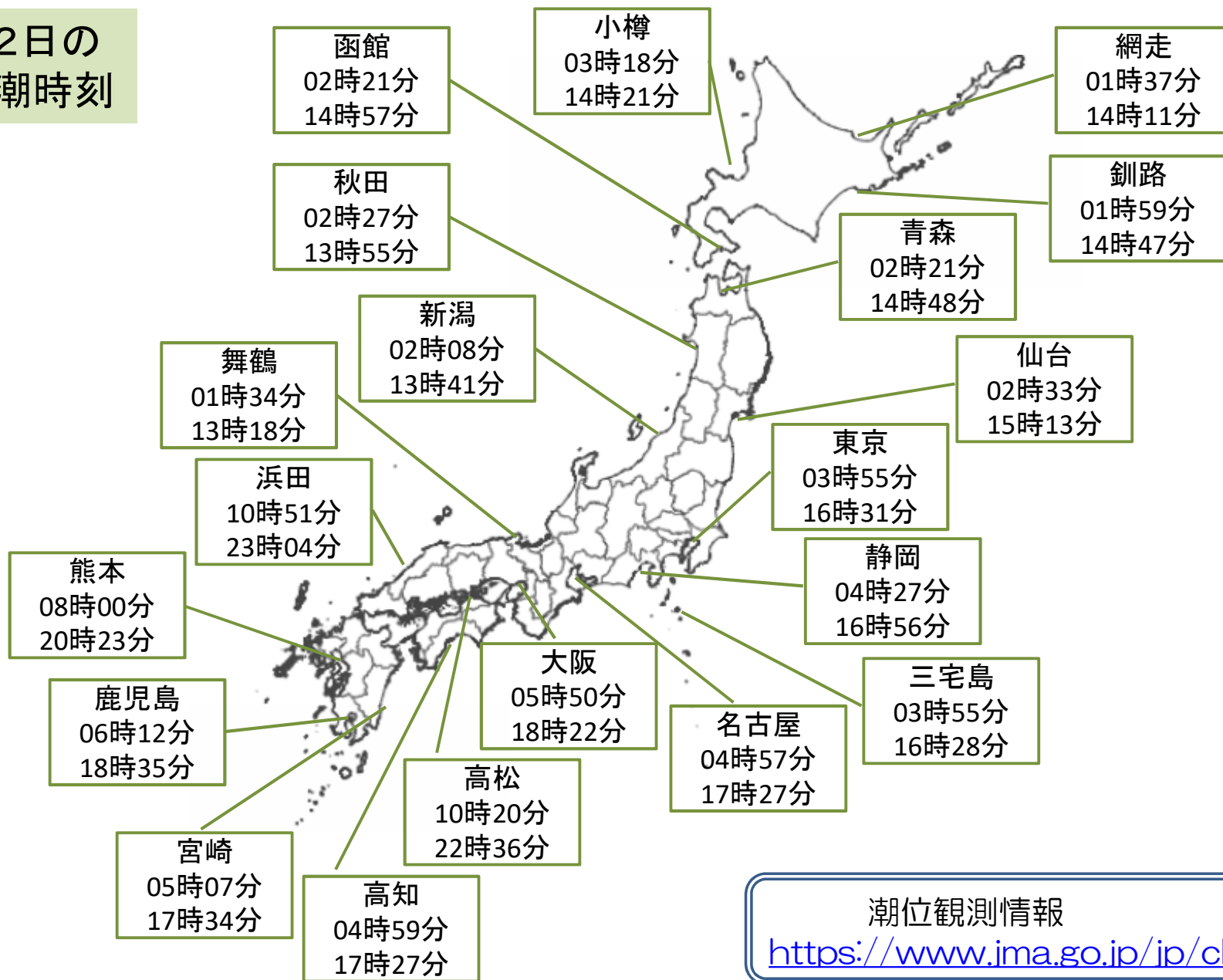


11日21時 予想天気図

12日21時 予想天気図

今後の予想を含めた最新の情報は、各地の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(天気図： <https://www.ima.go.jp/ip/g3/index.html>)

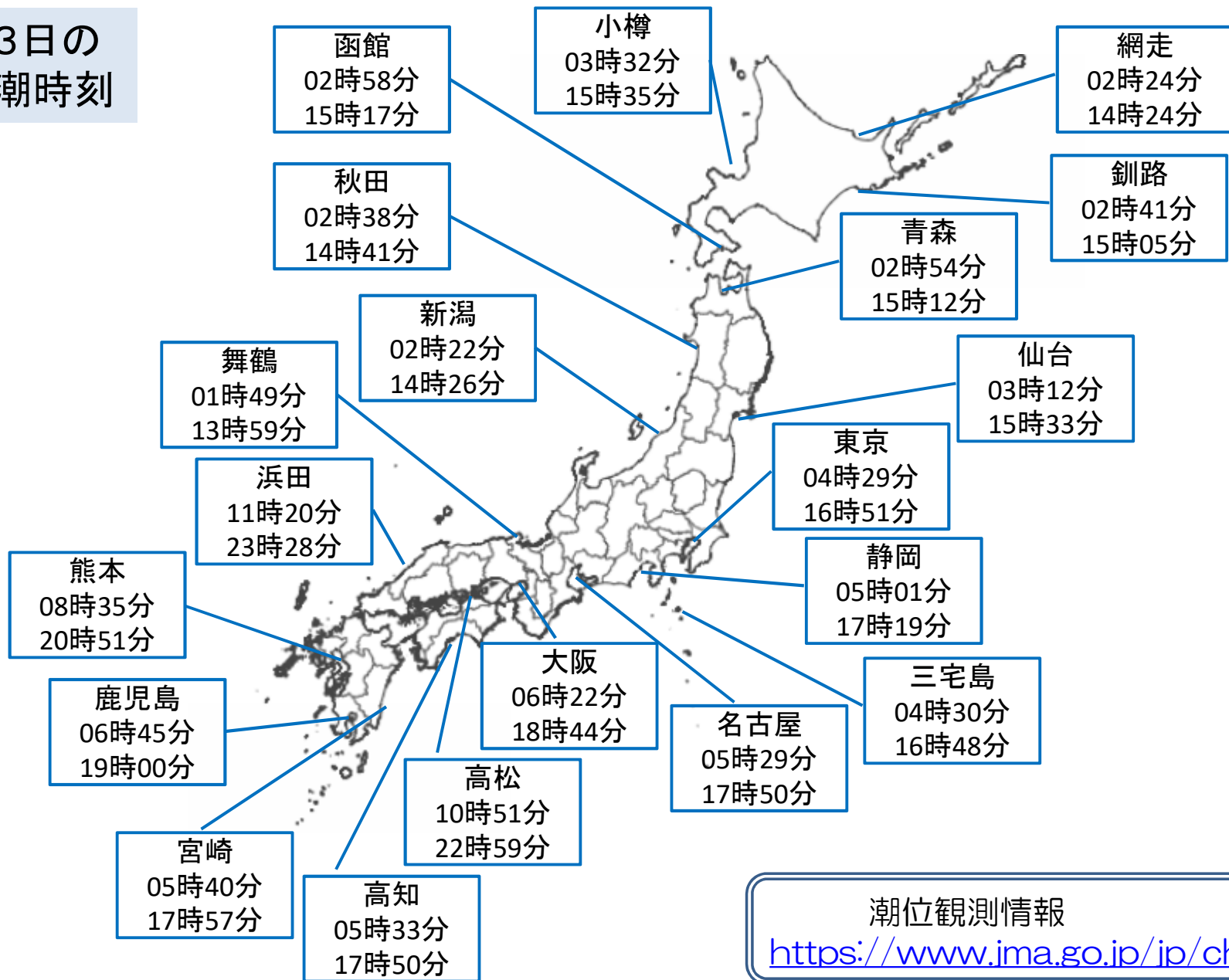
12日の満潮時刻



満潮時刻

2019年10月13日

13日の
満潮時刻

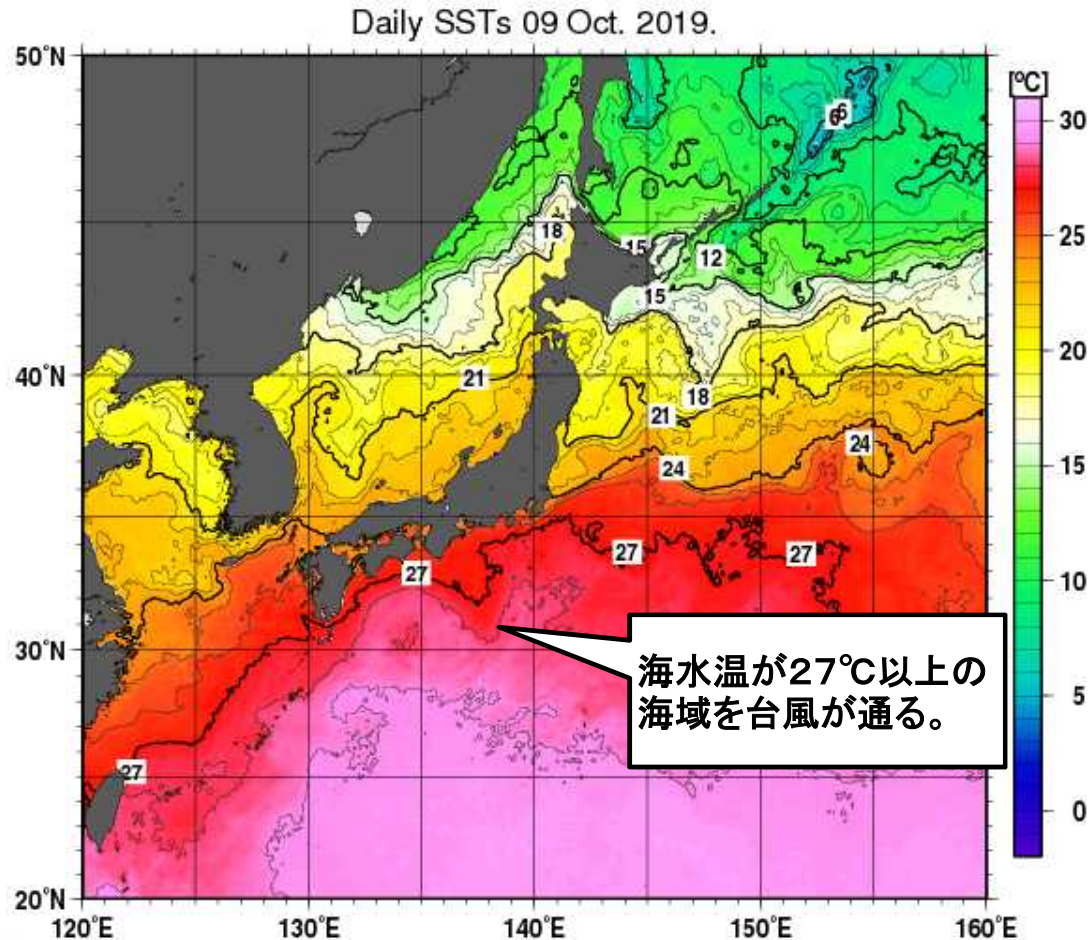


潮位観測情報

<https://www.ima.go.jp/jp/choi/>

海水温の状況

10月11日
10時時点の資料



日本近海の海面水温(9日)

今後の予想を含めた最新の情報は、各地の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(海面水温：https://www.data.ima.go.jp/gmd/kaiyou/data/db/kaikyo/daily/sst_HQ.html)²

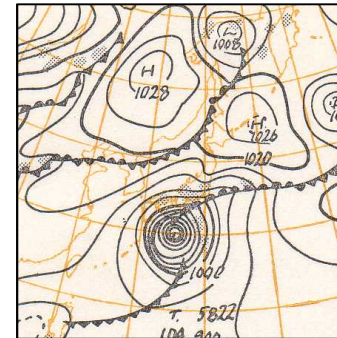
(参考) 狩野川台風 昭和33年(1958年) 9月26日～9月28日

- 東京で日降水量371.9mmを観測するなど、東海地方と関東地方では大雨となり、土砂災害や河川の氾濫が相次いだ。
- 伊豆半島中部では、特に集中して雨が降り、大量の水が流れ込んだ狩野川が氾濫。
- 神奈川県や東京都でも、市街地の浸水や造成地のがけ崩れなどにより、大きな被害があった。

被害の状況

死者888名、行方不明者381名、負傷者1,138名
住家全壊2,118棟、半壊2,175棟
床上浸水132,227棟、床下浸水389,488棟など
(消防白書より)

天気図 (昭和33年9月26日09時)



当時の降水量

地点名		最大日降水量		日降水量の極値順位 (通年)
		mm	月日	
大島	(東京都大島町)	419.2	9月26日	第3位
東京	(東京都千代田区)	371.9	9月26日	第1位
秩父	(埼玉県秩父市)	288.7	9月26日	第7位
横浜	(横浜市中区)	287.2	9月26日	第1位
熊谷	(埼玉県熊谷市)	277.2	9月26日	第3位
館野	(茨城県つくば市)	230.1	9月26日	第3位

気象庁ホームページ 災害をもたらした気象事例

(<http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/bosai/report/1958/19580926/19580926.html>)

今後の予想を含めた最新の情報は、以下からご利用ください。

- **気象警報・注意報** (大雨、洪水、暴風(雪)、波浪、高潮、大雪などによる災害への警戒・注意を呼びかける)
<https://www.jma.go.jp/jp/warn/>
- **危険度分布** (どこで土砂災害、浸水害、洪水の危険度が高まると予測されているかを地図上で表示)

土砂災害	https://www.jma.go.jp/jp/doshamesh/
浸水害	https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/inund.html
洪水	https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/flood.html
- **各地の気象情報** (気象概況や大雨の見通し)
<https://www.jma.go.jp/jp/kishojoho/>
- **台風情報** (台風の位置・強さ・速度などの解析・予報、大雨や暴風の見通し)
<https://www.jma.go.jp/jp/typh/>
https://www.jma.go.jp/jp/typh/typh_text.html
- **指定河川洪水予報** (国や都道府県の管理する主な河川の氾濫の危険度を予測)
<https://www.jma.go.jp/jp/flood/>
- **土砂災害警戒情報** (命に危険が及ぶ土砂災害の発生が切迫したときに厳重な警戒を呼びかける)
<https://www.jma.go.jp/jp/dosha/>
- **最新の気象データ** (雨雲の動き、レーダー・ナウキャスト(降水・雷・竜巻)、今後の雨、雨や風の観測データ、衛星画像)
<https://www.jma.go.jp/jp/highresorad/>
<https://www.jma.go.jp/jp/radnowc/>
<https://www.jma.go.jp/jp/kaikotan/>
https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/pre_rct/index24_rct.html
https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/wind_rct/index_mxwsp.html
<https://www.jma.go.jp/jp/gms/>
- **11か国語による防災気象情報の提供**
<https://www.jma.go.jp/jma/kokusai/multi.html>



気象庁HPのバナーをご利用ください。



気象庁防災情報
Twitter

@JMA_bousai

気象庁公式の防災情報アカウントを開設しました。台風接近や大雨のおそれがある場合等に、現況や今後の見通し、防災上の留意点、緊急会見の内容等を解説します。

(本報道発表に関するお問い合わせ)
気象庁予報部予報課: 03-3211-8303

暴風による災害への備え

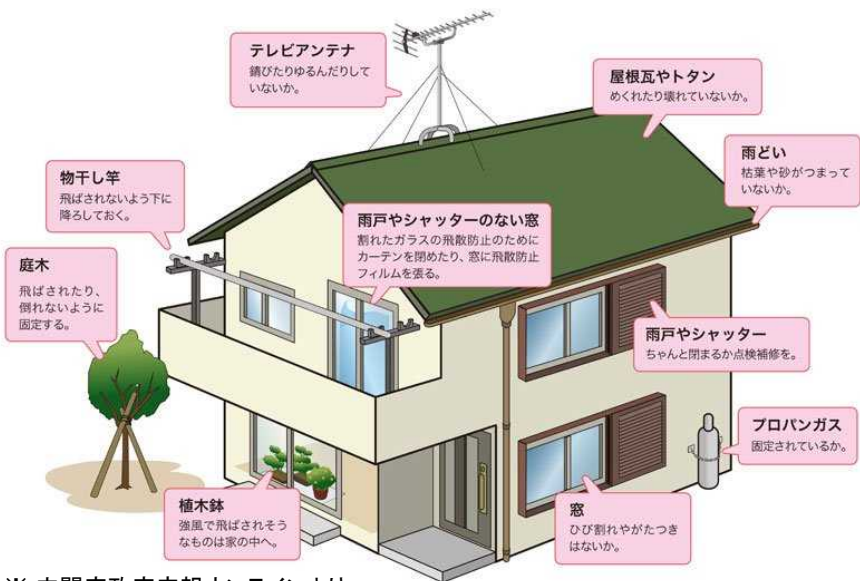
- ▶ 暴風が実際に吹き始めてからでは、屋外での行動は命に危険が及びます。
- ▶ 特に土砂災害や洪水、高潮のおそれがある区域では、風雨が強まる前の早めのタイミングで対応をとることが重要です。
- ▶ 風雨が強まるタイミングは、市町村毎に発表される警報・注意報で確認することができます。

〇〇市		今後の推移 (■警報級 □注意報級)										備考・関連する現象
発表中の警報・注意報等の種別		〇〇日										
		3-6	6-9	9-12	12-15	15-18	18-21	21-24	0-3	3-6		
暴風	風向風速 (矢印・メートル)	陸上	3	10	15	20	25	20	13	10	10	以後も注意報級
	海上	0	12	20	25	35	30	15	10	10		

暴風警報

陸上では昼過ぎから
風速20メートル

〈風が強まる前の家の対策〉



※ 内閣府政府広報オンラインより。

平均風速 (m/s) おおよその時速	人への影響 走行中の車	屋外・樹木の様子	建造物	おおよその瞬間風速 (m/s)
20~25 ~約90km/h	何かにつかまっていなくて立ってられない。飛来物によって負傷するおそれがある。	細かい木の幹が折れたり、根の張っていない木が倒れ始める。看板が落下・飛散する。道路標識が傾く。	屋根瓦・屋根葺材が飛散するものがある。固定されていないプレハブ小屋が移動、転倒する。ビニールハウスのフィルム (被覆材) が広範囲に破れる。	30
25~30 ~約110km/h		固定の不十分な金属屋根の葺材がめくれる。養生の不十分な仮設足場が崩落する。		40
30~35 ~約125km/h				

35~40 ~約140km/h	走行中のトラックが横転する。	多くの樹木が倒れる。電柱や街灯で倒れるものがある。ブロック壁で倒壊するものがある。	外装材が広範囲にわたって飛散し、下地材が露出するものがある。	50
40~ 約140km/h~		住家で倒壊するものがある。鉄骨構造物で変形するものがある。		60

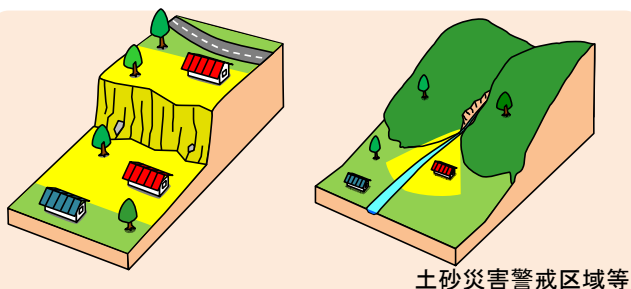
※ 平均風速は10分間の平均、瞬間風速は3秒間の平均です。
 ※ 人や物への影響は日本風工学会の「瞬間風速と人や街の様子との関係」を参考に作成しています。
 ※ 詳細は気象庁ホームページを御確認ください。(https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/amekaze/amekaze_index.html)

大雨による災害への備え

- ハザードマップ等により、土砂災害警戒区域や浸水想定区域等の命に危険が及ぶおそれがある場所をあらかじめ確認しましょう。
- 土砂災害・浸水害・洪水災害の危険度がどこで高まる予測となっているかを「危険度分布」の地図で確認することができます。
- 大雨により命に危険が及ぶおそれがある場所では、風雨が強まる前の早めのタイミングで対応をとることが重要です。風雨が強まるタイミングは、市町村毎に発表される警報・注意報で確認することができます。

命に危険が及ぶおそれがある場所

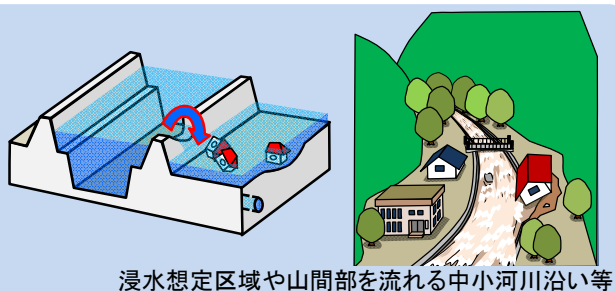
土砂災害



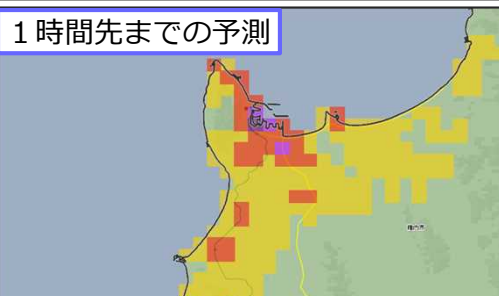
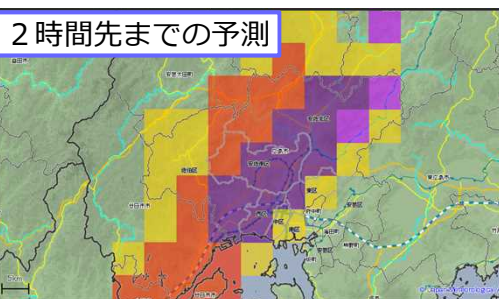
浸水害



洪水災害



危険度分布



災害の例



高波・高潮による災害への備え

- ▶ 台風の接近に伴い、沿岸では命に危険を及ぼすような高波や高潮のおそれがあります。特に、高潮で潮位が高くなっている時は、普段は波が来ないようなところまで波が押し寄せることがあります。むやみに海岸には近付かないください。
- ▶ 高波や高潮に警戒が必要なタイミングは、市町村毎に発表される警報・注意報で確認することができます。
- ▶ 暴風が実際に吹き始めてからでは、屋外での行動は命に危険が及ぶため、特に高潮時に浸水のおそれがある区域では、風雨が強まる前のタイミングで対応をとることが重要です。

波浪・高潮注意報等で今後の推移について確認

〇〇市		今後の推移(■警報級 ■注意報級)								備考・関連する現象		
発表中の警報・注意報等の種別		4日				5日						
		3-6	6-9	9-12	12-15	15-18	18-21	21-24	0-3	3-6		
大雨	1時間最大雨量(ミリ)	0									浸水注意	
	(浸水害) (土砂災害)											
暴風	風向風速(矢印・メートル)	陸上	12	14	20	35	35	18	15	12		
	海上	15	18	25	40	40	23	20	15	15	予想される波の高さ	
波浪	波高(メートル)	1.5	2	3	4	4	2	2.5	1.5	1.5	予想潮位(高潮の高さ)	
高潮	潮位(メートル)	0.4	0.4	0.8	2.8	2.8	2.2	1.5			ピークは4日16時頃	
雷											竜巻	

※潮位が上昇する前に強い風が吹く予想

※高潮や高潮と重なり合った高波による浸水に警戒

予想される波の高さ

予想潮位(高潮の高さ)

高潮時に浸水のおそれがある区域



高波や高潮による災害の事例

